

令和5月11月15日

羽生市議会議長 様

羽生市議会 小林 誠弥



行政視察報告書

このことについて、別紙のとおり実施したので報告します。

全国市議会議長会研究フォーラム参加報告書

羽生市議会議員 小林 誠弥

開催日：令和5年10月25日（水）～令和5年10月26日（木）

場 所：西日本総合展示場 新館

1. 基調講演

「躍動的でワクワクする市議会に」

片山 善博 氏

2. パネルディスカッション

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

コーディネーター：日本経済新聞編集委員 谷 隆徳 氏

パネリスト：日本経済新聞編集委員 勢一 智子 氏

西南学院大学法学部教授 辻 陽 氏

近畿大学法学部教授 濱田 真里 氏

北九州市議会議長 鷹木 研一郎 氏

3. 課題討議

「議員のなり手不足問題への取組報告」

コーディネーター：大正大学社会共生学部公共政策学科教授

江藤 俊昭 氏

事例報告者：登別市議会議長

辻 弘之 氏

一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事

目黒区議会議員

たぞえ 麻友 氏

枕崎市議会議長

永野 慶一郎 氏

感想

全国の市議会議員が集まる、全国市議会議長会研究フォーラムに参加させて頂きました。全国から約2,400名の参加者でした。

第1部の基調講演ですが、元鳥取県知事の片山善博氏の基調講演でした。県知

事の経験をもとに地方議会の現状や議会改革など勉強させて頂きました。議会
は最高決定機関であることからしっかりとした議論が重要だという事を再認識
させていただいたと共に、議会の権限を活用し市民との常識とかけ離れる事
のないような積極的な取り組みが重要だと感じました。

第2部のパネルディスカッションでは議員のなり手不足問題や議員に対する
ハラスメント問題が挙げられていました。

地方議員に対するハラスメントは男性女性関係なく多いことがわかりました。
これらの問題が地方統一選挙の検証と地方議会の課題との事でハラスメントに
はルールや条例等の制定が必要とのことでした。

北九州市議会として、「カフェトーク in 北九州」という議員と市民の意見交
換会を開催したり「中学生議会」という中学生が模擬議会を行い議会に興味を持
ってもらう取組を行っているという発表がありました。羽生市でも「中学生議会」
は開催しており、引き続き政治に興味を持っていただくような活動が重要だと
感じました。

第3部の課題討議では第2部で問題視されていた議員のなり手不足問題への
取組報告が発表されました。様々なアンケート調査により課題は見えてきてお
りました。幸いにも羽生市において市議会議員は毎回、選挙になっておりますが、
いつかはこのような問題に直面することもあり得る為、しっかりと対応をして
おかなければならないと感じました。

2日間の研究フォーラムを通じて、多くの学びを得られました。
この学びを活かし今後の議員活動に役立てて参りたいと思います。

以上、全国市議会議長会研究フォーラムの報告とさせていただきます。